

宇部市総合計画審議会教育文化分科会（第4回）議事録 【要旨】

日 時 平成21年2月26日（木）15：25～17：00

場 所 宇部市総合福祉会館4階 大ホール

出席者（委員）玉重彰彦 中野リエ子 園 絹枝 三原節子

（事務局）新総合計画策定室主査 篠原 功 総合政策課主任 福永俊明

（専門部会）教育次長 福重和巳 教育次長 杉本繁雄

1 教育文化分野における現状把握及び今後の方向性について

前回の「幼児教育・学校教育の充実」における「強み」「弱み」の整理に続き、「社会教育の充実」と「地域文化の振興と継承」における「強み」「弱み」を整理した。

<「社会教育の充実」における「強み」「弱み」の整理について>

（委員） 「姉妹都市や友好都市との国際交流」（強み）については、取組としてはあると思うが、一部の人たちに限られ、すそ野が広がっていないのではないかと。

（委員） 会話ができない人が多い中、あまり実感がないのが現状である。市民レベルでの交流が望まれる。

（委員） 「彫刻や芸術の満足度が高い」（強み）のに「現代彫刻展の認知度が低い」（弱み）のか。

（事務局） 認知度については、全国を対象とした認知度調査の結果で、彫刻に力を入れているにも関わらず、市外に知られていないということだ。

（事務局） 図書館、男女共同参画センター・フォーユー、青少年会館、青年の家、資料館（旧図書館）、アクトビレッジおの等の社会教育施設があるのは強みではないか。

（委員） 社会教育施設は強みではあるが、青年の家はあまり使われていないし、資料館の存在は知られていない。施設が十分活用されていないのは弱みだ。

（委員） 青年の家に少しばかりあったアスレチック施設もなくなった。

（委員） 常盤公園に、世田谷区の羽根木プレーパークのような施設に整備できればよいのだが。子供たちが、ボランティアの支援も受けながら、自己責任の原則の下、伸び伸びと遊べる場所だ。

（委員） 地域の社会人が活用されていないのは弱みである。地域には退職校長など貢献意欲のある人材がいるが、受け入れる学校側のニーズとのアンマッチがある。また、学校側に、管理面の理由からか、支援を敬遠するようなどころもある。

宇部では、学校支援ボランティア制度に手を挙げる学校も少ないのではないかと。

（委員） 子どもが小中学生の間は、地域とのつながりが持てるが、その後は地域に関わっていくかどうかは疑問である。

（専門部会） 国も「開かれた学校」としていろいろな制度を設けたが、ボランティアの確保など地域の実情にあった取組が必要である。まだ、学校が必要とするものと地域が出せるものとのコーディネートが中途半端でボタンの掛け違いが起こることもあるようだ。しかし、これからは地域の支援がなければ学校も維持していけないため、学校も確実に変わってきている。

- (事務局) 本市では「協働のまちづくり条例」が制定されている。また、市民の活動拠点として「市民活動センター」がある。そして、合併後、校区単位で地域コミュニティ組織が設立された。これらは、社会教育の土壌として強みではないか。
- (委員) 今後、地域コミュニティ組織は、地域に対する補助金等もここに集約されるなど、今後の地域活動の中心になると思われる。
- (委員) ボランティア・カレッジや青少年指導者養成講座「きらめきリーダー塾」で、いい取組にも関わらず、受講者が減っている。学生アンケート結果を見ると、地域活動に意欲のある若者もかなりいるので、このような取組につなげられないか。
- (委員) 子供の教育には親の教育が重要だ。宇部市の家庭教育学級も有益な取組だ。
- (専門部会) 家庭教育学級については、評判もよいようだ。
- (委員) 家庭教育学級に来るのは役員や熱心な親で、本当に学んでもらいたい親が来ていないように思われる。

<「地域文化の振興と継承」における「強み」「弱み」の整理について>

- (委員) 「彫刻や芸術の満足度が高い」(強み)というのは本当か。公演は下関市や長門市には来ても、宇部市が飛ばされるような状況だが。
- (事務局) 満足度は人により程度が違うので判断は難しいが、統計上は有意の結果である。
- (委員) 宇部興産のUBEアイ・プラザは、石炭産業の歴史を理解するのに役立つ。公害のまちから緑のまちへという街の取組を伝えていくことも重要。
- (委員) 常盤公園にも石炭記念館がある。
- (委員) 過去の資料を見て涙する人もいる。観光も大事かもしれないが、市民に宇部市の歴史を伝えることも大切ではないか。郷土の文化を発掘していく必要がある。
- (委員) 宇部市の歴史を考える上でも常盤公園は大事だ。
- (委員) 常盤公園や彫刻展は、いろいろと課題はあるにせよ、強みといえる。
- (事務局) 資料館があるのも強みではないか。
- (専門部会) きちんとした、「市の資料館」というレベルではないが。
- (委員) 資料館にも良いものがたくさんあると思う。
- (事務局) 文化振興課で、毎年度2校区ずつ、今年度までに6校区で校区文化財マップを作成している取組がある。これも強みといえるのではないか。
- また、地域資源である写真情報をデジタル情報で保存・閲覧できる「地域資源情報アーカイブシステム」(宇部ぢから)を来月くらいに公開する予定である。これも強みといえるのではないか。

<次回に向けて>

今回までに整理した「幼児教育・学校教育の充実」「社会教育の充実」、「地域文化の振興・継承」の「強み」「弱み」に基づき、各分野の戦略及びまちづくりの目標を協議する。

※次回開催 第5回審議会全体会議の後